

本所今昔物語 本所と水(12)

新田開発、もう一つの主役たち

今まで3回にわたって小林六左衛門の活躍を述べてきましたが、彼が新潟村に来るおよそ60年前にも重要な主役達が活躍した事実が見つかりました。

真宗門徒の活躍

大谷大学教授の故・大桑齊氏の著書『本願寺教如教団形成史』及び高校教師で仏教史家の田子了祐氏の著書『越後における真宗の展開と蒲原平野』には、信州から沢山の門徒と寺が来越して蒲原平野の新田開発に貢献したことが記されています。戦国末期から江戸初期に信州から越後に来た寺はなんと78ヶ寺にも及ぶそうです。

現在地	寺名	出身
元町	浄覚寺	信州
新潟町	明仁寺	信州・西連寺と分離
指出町	浄恩寺	信州
新町	西蓮寺	信州・元町から移転
新町	称名寺	越中・元町から移転
葛巻	明覚寺	信州
今町	永閑寺	信州
坂井町	専正寺	信州

見附市内の真宗寺院の記録を調べると左記のようになっています。殆どが信州からの転入ということが分かります。

浄土真宗の躍進

奈良時代に伝来した仏教は、長らく天皇や貴族など上流階級の人々だけのものでした。それが鎌倉時代に入ると多くの新仏教が創設され、ようやく一般民衆も信仰することができるようになりました。

特に阿弥陀仏を信仰する浄土教は多くの民衆に支持され、その中でも浄土真宗が一大勢力を形成しました。門徒の団結は強く、守護大名などからの一方的な支配を嫌い、武装して反抗する、いわゆる一向一揆が各地で起きます。特に北陸ではその動きが顕著で、1488年には加賀の守護を滅ぼし、その後90年間も自分たちで国を治めました。

浄土真宗の禁止と解禁

このような時期に、北陸方面に勢力を拡大しようとした越後守護代・長尾能景(謙信の祖父)は越中に侵攻し、門徒勢力と戦いとなり、1506年に戦死してしまいます。後継者の為景(謙信の父)も門徒衆との戦いを継続するため、越後国内での浄土真宗(一向宗)を禁止しました。

その後、謙信の時代に入ると、北陸に於ける織田信長との戦いを有利に進めるために、1576年に本願寺と和解し、禁教を解くとともに、政策を奨励に転じます。その証として、謙信は信濃から有力真宗寺院を招聘して優遇したのです。

その結果、この時期から北信濃を中心とした真宗寺院と農民が大挙して来越しました。進出した場所は蒲原・頸城地方が中心です。千曲川・信濃川を下り、本流から支流沿いの地域。三条、栄、燕、西蒲に多くの真宗寺院ができました。

著者の大桑教授によれば、「川中島合戦前後の北信濃からの移住は、全村挙げてのものが多く、集落のコミュニティを維持したままで、当然、寺も含めたものだ」と述べられています。

真宗門徒が見附で新田開発や町づくりにどれだけ貢献したかという資料はありませんが、表にあるだけの寺が移転して来ており、同行した百姓もかなりの数に及ぶものと推測されます。表にある寺の何人かの住職にもお聞きしたところ、「檀家に昔信州から来たという言い伝えがある家が複数ある」と語っておられます。

『見附文化財散歩』№115「永閑寺」には「上杉景勝の命により信州から今町にきた」と記されており、領主は労働力が不足する中で、強固な信仰で結ばれた門徒衆を町・村づくりの担い手として歓迎したことが分かります。

小林六左衛門などが新田開発に、浪人、百姓を使ったと市史にあります。大桑教授の研究により、「真宗門徒」というもう一つの主役達が存在したことが分かりました。

元町浄覚寺の越後進出

浄土真宗の浄覚寺も信州から移転して来た寺で、寺に残る文書によると、現在の長野市八重森から川中島の戦乱を避けるために1569年越後本与板に門徒2名と共に来たり、その数年後に元町へ移り草庵を結ぶとありました。山号は「八重森山」です。

筆者は数年前に住職や檀家の皆さんと共に、かつて浄覚寺のあった所、長野市八重森を訪ねました。そこは、千曲川右岸のリンゴ畑の広がる場所にあり、川中島古戦場史跡公園までは直線で10km程しかありません。

住職によると、現在でも信州出身で浄覚寺に関係のあった家が4軒あるそうです。(檀家でなくなった家もある) また寺が越後に下った後、寺の場所は「庵寺」となり、明治に入ると「小学校」に、更に現在は「八重森公民館」となっています。浄覚寺では現在も八重森の人たちと交流が続いています。



およそ460年の歴史を刻む浄覚寺と山門。山門は文化財級の建物で、檀家の皆さんからの資金で維持されています。

二階は鐘楼で、毎年大晦日には一般参加者により除夜の鐘撞きが行われています。

発行元

新潟県見附市「本所1丁目町内会」

担当 野水英男 TEL62-1542

かたくり 町内会だより 本所1丁目

2025年
(令和7年)12
月号

2P 町内会長ご挨拶

ランタンまつり開催

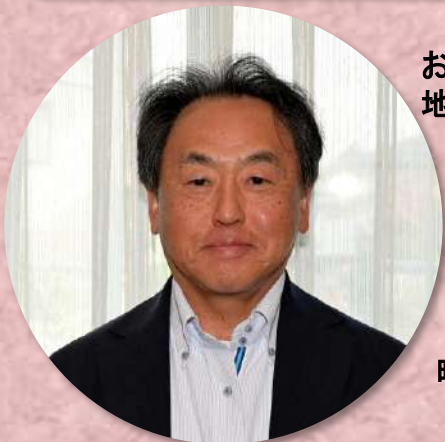
朝日野宮神社二年詣のお知らせ

3P 本所人 三本吉範さん

町内会主催ゴルフ大会結果

4P 本所今昔物語

町内会長ごあいさつ



お互いさまの
地域でいきましょう

町内会長
小林克太郎

会長職も二年目に入り、その間様々な経験をさせて頂きながら学ぶことが多くありました。現在地域で一番感じることは、地域のことに無関心で何事にも関わらないというタイプの若い方が増えたということです。

私も現役の頃は、自宅と職場の往復で地域には寝に帰ってくる場所ではなかったもので偉そうなことは言えないですが、歳を重ねる毎に誰かに支えられたり支えたり協力していくことの大切さが解ってきました。

犯罪や災害に対して一般市民は無力です。先日地域のお年寄りから「アオキの近くで二人組の男女が高齢者に声をかけ白タク行為をしているようだ」という話を聞きました。ネットでは全国的に白タク行為が横行し、違反ということを解らないままお金を取られるという被害を散見します。こんなことから警察に一報を入れておいた方が良くと考えて知らせるとすぐに付近のパトロールを強化して下さいました。警察とはまた情報が入ったら知らせ合うことになりました。

あれから三週間が経過しますが事件は起きておりません。地域の結びつきを強め、警察と連携したりすることが地域の安心安全を生みます。若い方々も年寄りも、お互いの多様性を認め合いながらこの地域を住みやすい安全な場所のまま次の世代に繋げていきたいと願っております。

何が起きてもおかしくない社会となっておりますが、西コミュニティや様々の行事で連携ができてこの地域なら安心安全も持続可能ではないかと思えます。

最後に町内会への御協力に感謝申し上げますとともに、今後も地域活動への参加と協力をお願いいたします。

ランタンまつり開催

西コミ主催、町内会、子供会、親和会共催の西地区こども祭が9月27日(土)に開催されました。春のイベントでは雨模様の天気からランタンなどの飾りつけが中止されてしまいましたが、今回は神社境内に沢山のランタンが飾られて幻想的な雰囲気を出していました。



17時から開催の輪投げ、射的、ドラゴンボール、景品くじ引きの受付には16時位から大勢の子供たちが並び大盛況でした。

ランタンへの点灯を18時に予定していましたが、日が短くなり暗くなってきたことから主催者の判断により30分早め、平賀西コミ会長の挨拶で開始しました。



昭和40年代まで使われた農具を加工してつくられたモニュメントです。当時の農具は伝承館に展示されています、興味のある方は見学されたいかがですか。

朝日野宮神社二年詣お知らせ



神社総代からのお知らせです。古くなった正月飾りやお札などを燃やして浄火する「お焚き上げ」を実施致します。時間は12月31日23時から翌1時頃まで。元旦は13時30分から14時までです。

長年地域でお守りしてきた神社です、多数の方の参拝をお待ちしております。なお荒天でお焚き上げを中止する場合があります。

また積雪がある場合、樹木などからの「落雪」の恐れがありますので十分注意して参拝下さるようお願いいたします。

本所人(ほんじょじん) 三本 吉範さん

朝日野宮神社・神社
総代

みつもと きちのり

三本 吉範 さん



今回の「本所人」は800年以上の歴史を刻む朝日野宮神社・神社総代を務められる1区在住の三本吉範さんです。三本さんは1952年本所に生まれ、農業経営の傍ら農業団体の役員を歴任されています。また、今年度は1区区長を務めておられます。

見附市史によると、江戸時代末期三本家当主三本吉左衛門は村松藩から任命され狐興野村の庄屋を務めたとの記録があります。



秋季祭礼で役員の皆さんが総代を先頭に社殿に進みます。

社殿では田口神主による祝詞奏上のあと参加された町内役員により玉串奉奠(たまぐしほうてん)が行われ、町内住民の平穏無事を祈念しました。

質問 神社の役員体制はどのようになっていますか。

答 代々本所で続いて来た家27軒ほどで役員を構成していて、春秋の祭礼や大晦日・正月などの行事から社殿の維持管理について話し合い運営しています。「神社総代」は4人いますが任期は特に決めていません。

質問 神社の創建年や歴史はどのようになっていますか。

答 神社に記録が無いので創建年は不明です。ただ、本所村は「本所」という荘園に関係する呼び名から日本で荘園が多く作られた平安時代に形成された村であることが分かっていますので、神社も同時代の創建と思われます。

質問 社殿の奥に三つの祠が祀られていますか、ということですか。

答 詳しくは分かりませんが、国の方針で神社を集約する方針が打ち出されたそうで、本所村でも明治40年に本所村字神明から「神明宮」を稲場新田村字稲場境から「稲荷宮」を朝日野宮神社に合祀したそうです。それぞれの神社の元の場所についても何も記録がありませんが、神社の住所からすると稲荷様は県道の北側、神明様は南児童公園付近に「神明」という地名があることから公園北側付近ではないかと思えます。



中央が「朝日野宮神社」、右が「神明神社」、左が「稲荷神社」のお社です。

町内会主催親善ゴルフ大会結果

町内会主催の「第48回本所1丁目(秋季)親善ゴルフ大会」が去る10月5日(日)三条市下田城カントリークラブで開催され、6区在住の中林良夫さんが優勝されました。

幹事の渡辺さんによると不安定な天候の中でしたがプレーが終わるまでどうにか持ちこたえ、終了後に雨が降ってきたそうです。また、参加者が11人と非常に寂しい状況でしたので次回からは是非大勢の方から参加頂きたいと話されていました。

上位入賞者(5/11)

1. 中林良夫さん、2. 樋口友夫さん、3. 小林琢磨さん、4. 氣田修介さん(BG賞)、5. 佐野守利さん。

優勝者インタビュー (中林良夫さん)

当日は雨予報でしたが、天候に恵まれ一緒に参加された皆さんと一日ゴルフを楽しめ、優勝まで出来て最高の日でした。

来年で町内ゴルフ大会は50回を迎えます。ベテランからビギナーまで多くの方が参加してくれる事を願っています。

表紙写真『晩秋を彩る』 2024.10.31撮影

晩秋の枯れた世界となった田んぼ。そこにひと際鮮やかな場所がありました。

農家からは「雑草」として嫌われる「背高泡立草(セイタカアワダチソウ)」ですが、こうして見ると案外きれいな花ですね。Wikipediaによれば、北米原産の植物で日本には切り花用に導入されたが、性質の強さから、他の植物を駆逐し日本全国に拡大した帰化植物だそうです。